

## **【緊急のお知らせ】大分県済生会日田病院の新型コロナウイルス感染症対応に**

### **関する現況について**

現在、日本中で新型コロナウイルス感染症 第7波が猛威をふるっており多くの医療機関が医療切迫の状況に陥っています。

当院（済生会日田病院）も同様の状況です。多くの方に当院の状況を知っていただき、感染者を減らし、この危機を乗り越えていくためのご理解とご協力をいただければと思います。

#### **・新型コロナウイルス感染症に関連した職員の欠勤**

感染または濃厚接触者となり欠勤している職員は8月1日現在18名です。

これは本日、出勤している職員の6%程度にあたります。

内訳は医師4名、看護師3名、事務職7名、その他コメディカル4名です。

明日以降も職員の欠勤者が増えることは十分考えられ、マンパワー不足により通常の医療業務が継続困難となることが危惧されます。

#### **・新型コロナウイルス感染者入院病棟の現況について**

病床使用率：8月1日現在 入院患者さんは14名（病床使用率 14床/30床中 47%）です。この1週間でみると14床/30床中から17床/30床中（47%～

57%) で推移しています。

- ・年齢別内訳は 90 歳代 4 名、80 歳代 4 名、70 歳代 4 名、60 歳代 1 名、40 歳代 1 名（70 歳以上の高齢者が 14 名中 12 名 86% と大半を占めています）

- ・基礎疾患 慢性腎不全にて血液透析を受けている方 2 名、認知症の方 5 名  
その他、高齢のため様々な基礎疾患を持っておられます。

- ・重症度別 重傷者は 14 名中 4 名 28% です。

病床使用率はこの 1 週間、50% 前後で推移していますが、このまま感染者が増えつづけければ、入院が必要な方を受け入れられなくなる可能性があります。

入院患者さんはそのほとんどが高齢者で認知症、腎不全等の基礎疾患があったり、ほぼ寝たきりの方もいて介護量大きく看護師の大きな負担になっています。

また、この暑さのなか防護服、N95 マスクをつけての看護、介護により看護師はかなり疲弊してきており、マンパワーの点からも入院患者の受け入れが困難になることが危惧されます。

以上の状況を踏まえ、地域の方の命を守るためには、救急患者さん、コロナ患者さんで入院治療が必要な方を優先して診ていく方針としました。

待機可能な入院予定患者や手術予定の患者には、現在の状況が落ち着くまでは制限をかけさせていただきます。

※ 九州内の当院以外の済生会 12 病院に新型コロナウイルス感染への対応状況を  
確認しましたが、感染の急拡大による感染者の急増と職員の感染による診  
療制限など当院と全く同じ状況であることが確認されました。

当院で対応困難な場合に大分市、別府市、久留米市等に受け入れを相談して  
も受け入れ困難となる可能性が高そうです。

検査キット（抗原検査、PCR 検査）も品薄になってきているとの情報があ  
り、今後このペースで感染者が増えたとき、検査をしたくても検査キット不足  
で必要な検査ができなくなることを危惧しております。

この危機は、市民のみなさんの協力なくして乗り切れないように思います。  
ご理解、ご協力のほどよろしく願いいたします。